



第6回実行委員会（8月8日、大阪・PLP会館）

実行委
員会が
34名
の参加
をもつ
て開催
された
3名が
福井か
らZO
OMで
の参加
だった
今回の
実行委

さかー
の参加
もつ
て開催
された
3名が
福井か
らZO
OMで
の参加
だった
今回の
実行委
員会が
34名
の参加
をもつ
て開催
された
3名が
福井か
らZO
OMで
の参加
だった
今回の
実行委
員会が
34名
の参加
をもつ
て開催
された
3名が
福井か
らZO
OMで
の参加
だった
今回の
実行委

着々と進めている政府に対し
て、黙っていることはできな
い。9月にも老朽原発再稼働
工事が終了し、原発立地自治
体で老朽原発再稼働の議論が
始まるこの時期に、「老朽原
発うごかすな」の意思を見せ
よう。今、コロナ禍において
ほとんどの集会やイベントが
規制される中で、この大集会
は全国から注目されている。
最善を尽くし「よくやった！」
と言われるような集会をやろ
う。等々。

結論として、●人数にはこ
だわらず集会を開催する ●
自主参加で、お互いの決断を
理解しあう。●大阪に結集で
きなくとも各地で統一行動を
追求する ●声明文を出し広
める ●申入れハガキを送る
●WEBを利用して「老朽
原発うごかすな！」を広める
●有志による御堂筋スタン



名古屋地裁前で（7月27日）

苦悩に満ちた、しかし充実
した討論でまとめられた。
8月8日、第6回「老朽原
発うごかすな！大集会」にお
お

9月6日を 「老朽原発うごかすな」の日に

員会の主な議題は、9月6日
の大集会の開催の是非を議論
し判断を下すことにあつた。
できるだけ多くの方に、思
いや意見を聴き、議論を深め、
決断をしようと司会者から提
起があり、参加者それぞれの
立場から、現状や思いが発言
された。医療現場で働く人か
らは、切実な労働状況と医療
体制の貧困さが報告された。
また、公務など多くの人と接
する労働者で組織される労組
団体も、組織として動員をか
けるのは難しいと苦悩を吐露
された。一方、コロナ禍にお
いても、自粛と「Go To」を
同時進行させる無策をはじめ、
「三密」の極みともいえる老
朽原発再稼働のための工事は

老朽原発 うごかすな！ ニュース

第8号

発行・老朽原発うごかすな！
大集会 in おおさか実行委員会

【連絡先】
090-1965-7102

7月27日

老朽原発廃炉名古屋訴訟

ディングに連帯する などが
確認された。
長く、熱い議論の後、誰か
らともなく拍手が沸き起こつ
た。この間、「老朽原発うご

かすな！」を合言葉に広がつ
た連帯・共闘を強く感じる会
議であつた。
（若狭の原発を考える会
橋田秀美）

新型コロナの影響で、法廷
に入る人数が大幅に制限され
る中、沢山の支援者の方々が
傍聴応援に駆けつけてくださ
いました。京都、福井からも
ご参加いただき、皆様の心意
気に大変励まされました。

この日は、今年4月に裁判
官一人の交替があり、主張し
てきた重要な問題について、
裁判官にしっかりと理解してい
ただくよう弁論更新です。高
浜・美浜両法廷でそれぞれ5
0分近い時間を使い、原子炉
容器の中性子照射脆化、地震
動評価と耐震安全性、電気ケー
ブルの劣化についてと、原規
委の秘密会議事件、原発関連
新聞記事について陳述でした。
その中で特に、原規委の秘
密会議事件は、主張全体を通
してみたときに、如何にその

審査が杜撰で偽りに満ちてい
るかを察することができると
のではした。これは、関電3原
発（大飯・高浜・美浜）の火
山灰対策が過小評価だったこ
とを認めざるを得なくなつた
規制委が、公開会議である委
員会の前に「非公開・議事録
なし、配布資料廃棄」という

秘密会議を行い、関電への対応について2案から1案に絞る意思決定をしていたのです。ここで規制委は、基準不適合状態にあるとしては対応せず、関電に報告徴収をしてから基準適合性の判断をする「時間稼ぎ」の案を採用したのです。

これは、原規委設置法第1条で「その委員長及び委員が専門的知見に基づき中立公正な立場で独立して職権を行使する原子力規制委員会を設置し」とする規定に違反しているため、認可の取消事由となるという主張です。

しかし、そもそも取り消し事由云々以前に、原規委の審査の信頼性が大きく揺らぐ事件であることを裁判官に強く印象付ける狙いもありました。これは、原子炉の中性子照射脆化の審査で現データすら確認しない、必要な加振試験も認可後に後回し、火山灰の想定が過小評価であることを示す文献を見過ごす等々、すべてに通じることだからです。私たちは、裁判官に「専門家のいうことだから大丈夫」と言わせないように運動を盛り

上げていかなければならないと思いました。

(老朽原発40年廃炉訴訟 市民の会 草地妙子)

「9・6大集会」の成功へ

9・6実行委と奈良実行委が 奈良の10団体に要請と交流

7月31日、「9・6老朽原発うごかすな！大集会」におおさか！実行委員会を代表して、中寫哲演さん、木原壯林さんら4名が奈良に来ていただき、終日、「原発ゼロ・被災者支援奈良のつどい実行委員会」と共に、大集会成功の要請と交流が行われました。

最初に、奈良県教育会館において、松本俊一共同代表の挨拶のあと、木原壯林さんから奈芳連、新日本婦人の会、年金者組合者、平和委員会の代表に「老朽原発の危険性」、大集会の意義、取り組みの経過などが詳しく語られた。続いて、4名と奈良実行委員会の計11名は、「脱原発をめざす奈良県議会議員連盟」(超党派18名)と県庁で交流。山本進章議長連会長(現奈良県議会議長)をはじめ7名

の県会議員のご参加を頂き、阪口幹事長の司会で山本会長、乾副議長および哲演さんの挨拶、太田幹事の議連取り組み報告、木原さんの「老朽原発うごかすな！」取り組みの報告に続いて活発な報告が相次ぎ非常に有意義な交流が生まれました。参加者一同「老朽原発うごかすな！」の意思を固め記念撮影(下写真)。

午後は車に分乗して、以下を順次訪問・要請・交流を行いました。訪問先は、平和フォーラム、部落解放同盟、保険医協会、般若寺、コープ自然派。コロナ禍の厳しい情勢のもと、十分な注意と創意工夫をして集会を成功させるべく、哲演さん・木原さんらは各団体の実情や交流の経験も交えて熱心に訴えられました。最後に般若寺を訪れ藤

良任住職から「原爆犠牲者追悼・平和の塔のつどい」のお話を聴き、核廃絶を誓いながら午後5時に団体訪問を終りました。

良のつどい実行委員会 溝川悠介

9・6大集会の成功に向けさらなる賛同の拡大を！

「老朽原発うごかすな！大集会」の成功に向けて、すでに900をこえる団体、個人からの賛同が集まっております。コロナ禍の中での大集会の成功のため、さらなる賛同を実行委員会に集中してくださるよう重ねて訴えます。

賛同金は団体1口3000円、個人1口1000円です。複数口のご納入をいただければ幸いです。ご賛同いただけます場合、郵便振替用紙に、団体あるいは個人名、連絡先、お名前公表の可否を明記の上、お振込みください。

【郵便振替加入者名】「老朽原発うごかすな！大集会 in おおさか」実行委員会

【口座番号】00990-4-334563

最後に、JR奈良駅近くで簡単な交流の場を持ち、参加者全員が「中寫哲演さんらに来ていただいて、奈良の各団体と「老朽原発うごかすな！実行委員会」との交流など盛り多く、奈良の取り組みに大きな刺激をいただき感謝しています」などと口々に満足感溢れる感想を述べました。



熱い交流の記念写真(7月31日)